



高等学校日语教材

新 基 础 日 本 语

总 主 编 王 晶
本 册 主 审 任 卫 平 于 丽 萍
本 册 主 编 牟 海 晶 李 凌 云
本 册 副 主 编 赵 春 英 张 永 泉 尹 伟

第三册



大连理工大学出版社
Dalian University of Technology Press

高等学校日语教材

辽宁大学“211工程”三期资助项目

新基础日本語

(第三册)

总主编 王晶

本册主审 任卫平 于丽萍

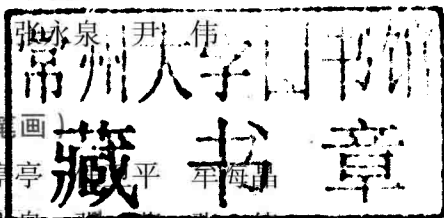
本册主编 牟海晶 李凌云

本册副主编 赵春英

编委会成员 (按姓氏笔画)

于丽萍 王晶 王亭亭 任卫平 牟海晶

李凌云 赵春英 张永泉 张 园 张 倩



大连理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

新基础日语. 第3册 / 王晶主编; 牟海晶, 李凌云分册主编. — 大连: 大连理工大学出版社, 2014. 6
ISBN 978-7-5611-8915-3

I. ①新… II. ①王… ②牟… ③李… III. ①日语—教材 IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2014)第 031563 号

大连理工大学出版社出版

地址: 大连市软件园路 80 号 邮政编码: 116023

发行: 0411-84708842 邮购: 0411-84708943 传真: 0411-84701466

E-mail: dutp@dutp.cn URL: <http://www.dutp.cn>

大连美跃彩色印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸: 185mm×260mm 印张: 12.5 字数: 284 千字

附件: 光盘 1 张

2014 年 6 月第 1 版

2014 年 6 月第 1 次印刷

责任编辑: 张 凡

责任校对: 李双 王楠

封面设计: 季 强

ISBN 978-7-5611-8915-3

定 价: 28.00 元



序言

作为一衣带水的东亚近邻，中日两国不论是在亚洲还是世界上都是最重要的国家。在两千多年的交往中虽然有过很多不愉快甚至是不堪回首的历史，但两国在政治、经济、文化等方面的交流一直没有中断过，两国人民的友好往来、互通有无一直是两国交往的主旋律。特别是进入21世纪以来，两国在经贸、科技等领域的互补关系越来越紧密，在推动经济全球化进程中的作用越来越重要。

外语作为对外交流的工具，在我国各级各类院校和教育机构的教学中都占有突出重要的地位，外语人才一直是令人羡慕的“金领”。日语作为小语种中的“龙头老大”，多年来一直受到外语爱好者的青睐，学习者的学习热情日益高涨。据不完全统计，截至中日两国恢复邦交正常化的1972年，在我国一千多所高校中设立日语专业的不足20所；到了2006年，开设日语专业的高校已经达到358所，在校学生接近15万人；而据中国日语教学研究会的数据，2010年我国开设日语专业的高校已多达680所，在校学生达到57万人。

日语专业是我国高校中蒸蒸日上的“老牌”专业，具有良好的招生和就业前景。虽然不同类型的高校在日语专业人才培养定位上有较大差别，比如专业型、双语型、复合型、专业方向型等，但总的来说都定位于培养掌握扎实的日语基础知识和较强的外语交际能力，具有日本社会、文化、经济、贸易、法律、商务等相关知识，具有健全的体魄和良好的审美素养的初中级日语专业人才，相关人才可在企事业单位或外资企业从事口译、笔译、商务活动和导游等工作。可以说，不论哪种日语人才培养模式，其基础和核心都是扎实的日语基础知识。

目前，我国各高校日语专业学生使用的基础日语教材种类繁多、各具特色，形成了百花齐放、争奇斗艳的繁荣景象。在这姹紫嫣红的百花园中，由辽宁大学王晶教授总主编的

高等院校日语专业系列精品教材《新基础日语》脱颖而出,为21世纪我国高校基础日语教材的繁盛又增添了一朵瑰丽的奇葩,也为高校日语专业学生以及同等水平的日语爱好者基础知识的提升提供了一个多选的 platform。

该教材具有浓郁的时代气息和较强的现代特征,选材选词博采众长、新颖独特。全套教材在编写上力求由浅入深、循序渐进、简明扼要、提纲挈领、画龙点睛、融会贯通,以使学生在知识掌握和语言运用上能举一反三、触类旁通,从而搭建起一个日语能力迅猛提升的平台。该教材编写体例特点突出,实用性强,既有正文、会话、语法、单词、练习等通用内容,可以为学习者提供原汁原味、地道优美的日语语言和基础知识;同时还编入一定的相关文化背景知识和生活常识、行为规范等,以增强学生的学习兴趣,提升文化素养。该教材与国内其他基础日语教材相比,其优点和长处对于使用者会不言自明,相信定会大有裨益。

正值本教材付梓之际,谨向全体编写人员和出版社有关人员的辛勤工作以及教材资料素材提供者表示衷心感谢。并祝诸位同仁今后在日语精品教材开发上做出更大贡献。

中国日语教学研究会 常务理事
中国医科大学 外语部 教授

王 未



目録

第1課

- 一、本文/1
- 二、単語/2
- 三、文法解説/3
- 四、練習/8

- 五、補充単語/11
- 六、読み物/13
幸福とは？

あなたは、絶対
幸運がつながる

1

第2課

- 一、本文/15
- 二、単語/16
- 三、文法解説/17
- 四、練習/22

- 五、補充単語/24
- 六、読み物/26
地球温暖化について

天気と気分
の関係

15

第3課

- 一、本文/27
- 二、単語/28
- 三、文法解説/29
- 四、練習/33

- 五、補充単語/36
- 六、読み物/37
コミュニケーション

天声人語

27

第4課

- 一、本文/39
- 二、単語/40
- 三、文法解説/42
- 四、練習/47

- 五、補充単語/49
- 六、読み物/51
日本人の食生活

一杯のコーヒー
から

39

第5課

- 一、本文/52
- 二、単語/53
- 三、文法解説/54
- 四、練習/59

- 五、補充単語/61
- 六、読み物/62
千宗室

だれでも、天才になる機会はある

52

第6課

- 一、本文/63
- 二、単語/64
- 三、文法解説/65
- 四、練習/71

- 五、補充単語/73
- 六、読み物/74
JRの乗り方(乗るときにキップを買う場合)

「何もございません」

63

第7課

- 一、本文/75
- 二、単語/76
- 三、文法解説/77
- 四、練習/82

- 五、補充単語/84
- 六、読み物/86
コンピューター依存症の時代

私達はコンピューターの奴隷?

75

第8課

- 一、本文/88
- 二、単語/89
- 三、文法解説/91
- 四、練習/95

- 五、補充単語/98
- 六、読み物/99
秋採用

社説：東大の秋入学——学生のための国際化を

88

第9課

- 一、本文/101
- 二、単語/102
- 三、文法解説/104
- 四、練習/109

- 五、補充単語/110
- 六、読み物/112
日本は父系社会か、母系社会か

日本の伝統的な「家」

101

第10課

- 一、本文/113
- 二、単語/114
- 三、文法解説/116
- 四、練習/123

- 五、補充単語/124
- 六、読み物/125
物語について

鶴の恩返し

113

第11課

- 一、本文/128
- 二、単語/129
- 三、文法解説/130
- 四、練習/136
- 五、補充単語/138
- 六、読み物/140
相手がいる幸せ見て

ハプニング

128

第12課

- 一、本文/141
- 二、単語/142
- 三、文法解説/144
- 四、練習/149
- 五、補充単語/151
- 六、読み物/152
ユーモアと笑いの効果

笑について

141

第13課

- 一、本文/154
- 二、単語/155
- 三、文法解説/157
- 四、練習/161
- 五、補充単語/164
- 六、読み物/165
和食とは何か

何でもあり個人主義

154

第14課

- 一、本文/167
- 二、単語/168
- 三、文法解説/170
- 四、練習/179
- 五、補充単語/181
- 六、読み物/182
「希望」と「絆」

沈黙の対話

167

付録 練習問題の正解（参照）	184
参考文献	190

あなたは、絶対幸運がつながる



本文



最近、人間の認知、つまり、「人がどのようにものを見、どのように感じるか」についての研究が進んでいて、それについて勉強する機会が増えました。

そこで知ったことなのですが、人間は起こっているすべてのことを見たり、感じたりするのではなく、そのほんの一部の情報のみを処理するということです。

ちょっと言葉が難しくなりましたが、時計を見ている人には時計のことはよくわかっているし、同じ部屋の、たとえばテレビの番組には目もやっていなければ、音がしていてもほとんど何を聴いているのかを無視してしまうのです。

記憶についても同じことが言えて、やはり自分の中で気になっていることはよく覚えているし、よく思い出すのですが、そうでないことはほとんど覚えていなかったり、覚えていたとしても思い出すことがほとんどないのです。

こういうことが起こります。

たとえば、自分が気に入っている人や好きな人については、いい面ばかりが見えるし、やってもらったいいことばかりを思い出すのに、嫌いな人については悪い面ばかりが見えたり感じられたりする。その人がしたことについては、悪いことばかりを思い出すのです。たとえ意地悪な上司がいたとしても、意地悪だけをしていたら、仕事にはなりません。

たぶん、通常業務の命令や指導もしているはずなのに、そのことは全く目に入らなかったり、記憶に残らないのに、その人のきついことばや、その人にされたことだけを思い出すのです。

つまり、自分のことを不運だ、不幸だと思っている人は、今いる世界の中で、不運なことばや嫌なことばかりが目についたり、感じられたりするし、記憶の中の不幸なこと・不運なことばかりが思い出されるのに、幸運だ、幸せだと思っている人は、同じような体験の中からでも、幸せなこと、幸運なことを感じ取るし、記憶の中でもいいことを思い出すということなのです。

これは、本人の主観的な幸福や不幸につながるのですが、それだけではありません。

幸福で幸運だと思える人は、より積極的に行動をしようとするので、実際の幸運や幸福をつかみやすいのに、不運で不幸と思える人は、どうせやっても無駄、うまくいくわけがないと思ってしまって、行動まで消極的になって、現実を打開するチャンスを失ってしまうのです。

（和田秀樹「あなたは、絶対幸運につながる！心理学」による 編集者に添削された所がある）



単語



認知（にんち）①①	【名・他サ】	（対外界の）认识；承认
進む（すすむ）①	【自五】	前进；进步、先进；进展
機会（きかい）②①	【名】	机会、时机
増える（ふえる）②	【自一】	增加、增多
すべて①	【名・副】	一切、全部、统统
処理（しより）①	【名・他サ】	处理、办理、处置
例えば（たとえば）②	【副】	譬如、比如、例如
ほとんど②	【名・副】	大体上、大致；几乎、差一点儿
無視（むし）①	【名・他サ】	无视、不顾、忽视
記憶（きおく）①	【名・自サ】	记忆、记忆力、记性
やはり②	【副】	仍然、还是；也、同样；果然
思い出す（おもいだす）④①②	【他五】	想起、记起；联想
意地悪（いじわる）③②	【名・形動】	使坏、刁难、心眼儿坏（的人）
通常（つうじょう）①	【名】	通常、平常、普通、一般
業務（ぎょうむ）①	【名】	业务、工作
命令（めいれい）①	【名・他サ】	命令
残る（のこる）②	【自五】	留下；剩余、剩下；残存、残留
きつい①	【形】	严厉、苛刻；强烈、厉害；紧
不運（ふうん）①	【名・形動】	不幸、倒霉、不走运
不幸（ふこう）②	【名・形動】	不幸、倒霉；死亡、丧事
嫌（いや）②	【形動】	不愿意、讨厌；厌烦；不愉快
感じ取る（かんじとる）④	【他五】	感到、感觉到、觉得
本人（ほんにん）①	【名】	本人、当事者
主観的（しゅかんてき）①	【形動】	主观（的）

つながる①	【自五】	牵连、有关系；连接
積極的（せっきょくてき）①	【形動】	积极（的）
行動（こうどう）①	【名・自サ】	行动、行为
実際（じっさい）①	【名・副】	实际、事实；的确、真的
掴む（つかむ）②	【他五】	抓住；掌握、了解到；获得
どうせ①	【副】	反正；横竖、总归
無駄（むだ）①	【名・形動】	徒劳、白搭；浪费、白费
消極的（しょうきょくてき）①	【形動】	消极（的）
打開（だかい）①	【名・他サ】	打开、开辟（途径）；解决（问题）
チャンス①	【名】	机会、良机
失う（うしなう）①	【他五】	丢失、丧失；迷失；错过



文法解説

一、慣用表現

1. 音がする

表示听到物体发出的声响或人和动物弄出的声响的意思，翻译成“有声音”、“发出声音”等。

【例】（1）お腹の中でぼこぼこ音がする。/肚子里发出咕噜咕噜的声音。

（2）古いピアノはひどい音がして、使い物にならない。/这架旧钢琴音质极差，简直没法用。

“～がする”接在表示声音、气味、口味、感觉等的名词后，表示有这种感觉的意思。常用的有：

○声がする。（听到人或动物嗓子发出的声音）

○においがする。（闻到气味）

○味がする。（尝到/吃出味道）

○気がする。（感觉到）

【例】（1）隣の部屋から誰かの話し声がしている。/听到隔壁好像有人在说话。

（2）台所から焦げたにおいがする。/从厨房冒出一股烧焦的味道。

（3）このサラダは変な味がする。/这个沙拉有股怪味儿。

（4）彼とはうまくやっていけないような気がする。/我总觉得跟他处不好。

2. 気になる

1) 意思大致相当于“心配する”，表示感到不安、担心的意思。翻译成“担心”、“挂念”、“放心不下”等。

【例】(1) 息子の行く末が気になってたまらない。/非常担心儿子前途。

(2) 最近、人からの評価が気になってしょうがない。/最近很在意别人怎么评价自己。

(3) 故郷のお母さんのことが気になってならない毎日でした。/每天都在担心老家的母亲。

2) 表示有做某事的意愿或想法、心情的意思。翻译成“有意”、“有心”、“想要……”等。“気にならない”则表示无意做某事的意思。

【例】(1) 本を読んでみる気にもならない。/连书都不想看。

(2) こんな暑さではだれも仕事をする気になれない。/这么热，谁也干不下去工作。

(3) そんなことがあったから、仕事をやめる気になったわけです。/因为发生了那样的事，所以才想辞去工作。

3. 気に入る

表示某人、某事物符合说话人的兴趣、爱好或愿望，说话人很喜欢他（它）。翻译成“称心”、“如意”、“喜爱”、“喜欢”等。

【例】(1) あの新社員は、部長のお気に入りだ。/部长对那个新员工很中意。

(2) (洋服屋さんなどで) この服では、お気に入らないですか？/这件衣服不合您心意吗？

(3) 物事は自分の気に入るようにばかりいくものではない。/事情不能全都称心如意。

4. 目に入る

表示某物自然而然地进入某人的视野。翻译成“映入眼帘”、“看在眼里”、“看到……”等。

【例】(1) 彼女は何も目に入らなかった。/她对什么事都不留心。

(2) 目に入る広告は「電車の中」「駅のホーム」が圧倒的に多い。/在电车上和站台上看到的广告占绝大多数。

(3) 展示会場で、まず目に入るのが朱色の民族衣装を身にまとった一見、女性のような人物像。/在展览会场，首先映入眼帘的是身着红色民族服装，乍看上去像女人的人物形象。

5. 目につく

表示某人或某物非常显眼、容易引起人们的注意。翻译成“引人注目”、“显眼”等。

- 【例】(1) 彼はいちばん目につきやすいところに座っている。/他坐在最显眼的地方。
 (2) 君はどうしてこれが目につかなかったのか。/你怎么没看到这点呢？
 (3) 境内に来ると黄色い花が目につくようになった。/一进入神社院内，黄色的花朵引人注目。

二、言葉の使い方

1. ほんの～

用于强调个头小、数量少、品质差等意，或说明某事物只是徒有其名而已。相当于汉语的“只有……”、“仅仅……”、“一点点”等。

- 【例】(1) ほんの少し。/一点点。
 (2) これはほんのおしるしです。どうぞ。/只是略表寸心，请收下。
 (3) ほんの2、3分の違いで終電に遅れた。/只差2、3分钟没赶上末班电车。
 (4) 学者といっても彼のはほんの名ばかりだ。/虽说他是个学者，却只是徒有其名而已。

2. つまり

作为副词使用时，主要用于对前文所述内容进行归纳总结。相当于汉语的“总之”、“最终”、“究竟”等意。此外，“つまり”还有与“言い換えると”“すなわち”等词相似的用法，相当于汉语的“换言之”、“也就是说”等。

- 【例】(1) つまり、これはすべてあなたのためだ。/总之这些都是为了你。
 (2) つまり、君はせっかくの同窓会へも行きたくないというんですね。/也就是说，你连难得的同学会也不想去参加，是吗？
 (3) 人間も動物の一つだ。つまり、われわれもいつか死ぬということだ。/人类也是一种动物。也就是说，我们也早晚有一天会死去。
 (4) 父の姉の娘、つまりわたしのいとこが近く上京してくるそうだ。/父亲姐姐的女儿，也就是我的表姐（妹），听说最近要来东京。

3. より

副词“より”，用在某些形容词、形容动词的前面，具有比较的意思，相当于汉语的“更加……”、“越发……”等。

- 【例】(1) より多くの人。/更多的人。
 (2) より安全なところがほしい。/想要一个更安全的地方。

- (3) より深く理解するために、彼からの手紙を何度も読みました。/为了加深理解，把他的来信读了好几遍。
- (4) より多くより優れた作品を創作していきたい。/我想创作出更多、更好的作品。

4. どうせ

1) 表示说话人认为某事的结论和结果是一定的，用个人的意志和努力改变不了。显示了其要断念和放弃的态度。

【例】(1) どうせ私はばかですよ。/反正我是个笨蛋。

(2) 三日坊主の彼のことだから、どうせ長続きはしないだろう。/他三天打鱼两天晒网，反正不会长久吧？

(3) どうせ合格するはずがないのだから、気楽にいこう。/反正也不可能及格了，那就放轻松些吧。

2) 常与假定的表达方式“～（の）なら”、“～のだったら”等搭配使用，表示“反正如果已经决定了的话”之意。用于在那种条件下应该采取的态度和行动。后续说话人的意志、希望、义务以及表示命令、劝诱等促使对方行动的表达方式。

【例】(1) どうせやるならもっと大きいことをやれ。/总归要干的话，就干得大一点的。

(2) 急いでもどうせ間に合わないのだったら、ゆっくり行こう。/反正着急也赶不上了，那就慢慢走吧。

(3) どうせ試合に出るからには、必ず優勝してみせる。/既然参加比赛，就一定要取胜。

5. ～まで

表示说话人用带有惊奇的语气叙述“不用说一般能考虑到的范围，甚至连一般没想到的范围都……”的意思。相当于汉语的“连……都”、“甚至……都”、“到……地步”等。

【例】(1) スミスさんは家族から手紙をもらって、とてもうれしそうだ。そばで見ている私までうれしくなった。/史密斯收到了家人的来信，非常高兴。我在旁边看着也很高兴。

(2) 私は、とてものがかっていたので、友達のジュースまで飲んでしまった。/因为我太渴了，所以连朋友的果汁也喝光了。

(3) あの人是有名だから、小さい子どもにまで知られている。/那个人太有名了，连小孩都知道他。

(4) いちばん信頼していた部下までが、彼を裏切った。/甚至连他最信任的部下都背叛了他。

(5) 最近はいろいろところでコンピューターを使っている。小学校の授業までそれを使っているそうだ。/最近到处都用上了电脑，听说就连小学的授课也在用。

三、文型

1. ～のみ

接续：名词/形容动词连体形・词干＋のみ

形容词・动词终止形＋のみ

用法：多用于书面语，表示排除其他，而限于某事物。常与副词“ただ”构成“ただ～のみ”的形式，相当于口语中“ただ～だけ”的用法。常翻译成“只（有）……”、“仅……”等意。

- 【例】(1) 人間の価値はただ学歴のみで判断すべきではない。/人的价值不应该只凭学历判断。
 (2) 事故はあまりにも突然で、私は何もできず、ただぼう然とするのみだった。/事故发生得太突然了，我只是一个劲儿地发呆，什么也做不了。
 (3) 単語はただ丸暗記で覚えるのみではだめだ。理解することが大切だ。/单词不能只是死记硬背，关键是要理解。

2. ～ばかり

接续：名词（＋助词）ばかり

用法：表示“只有这个没有别的”的意思。用于述说“很多同样的东西”、“多次重复同样的事”。常翻译成“只”、“净”、“光”等意。

- 【例】(1) 彼はいつも文句ばかり言っている。/他总是发牢骚。
 (2) このごろ、夜遅くへんな電話ばかりかかってくる。/最近，深夜总有奇怪的电话打来。
 (3) 父はいつも末っ子にばかり甘い。/父亲总是娇惯最小的孩子。
 (4) 人生は雨の日ばかりじゃない。/人生并不总是阴雨天。

3. ～し

接续：用言连体形＋し

用法：

1) 以“そして（而且）”的意思连接短句与短句。用于表示两个事物同时存在，或在说话人的意识中两个事物有所关联。常翻译成“既……又……”、“而且……”等意。

- 【例】(1) このアパートは静かだし、日当たりもいい。/这间公寓既安静，采光又好。
 (2) 部屋には鍵がかかっていなかったし、窓もあいていた。/房间没上锁，而且窗户也是开着的。
 (3) 昨日食欲もなかったし、熱を出したので早く寝た。/昨天既没食欲又发烧，所以我早早就睡了。

2) 表示理由。与“ので”或“から”比较,前后的因果关系不是那么紧密,并暗含有其他理由。

- 【例】(1) 暗くなってきたし、そろそろ帰りましょうか。/天快黑了,咱们该回去了吧。
(2) まだ若いんだし、諦めずにもう一度挑戦してください。/你还年轻,别灰心,再试一次。
(3) あそこへは路線バスが走らないし、ひどく不便なところだった。/那里不通公交,是非常不方便的地方。

4. ~わけがない

接续: 用言连体形+わけがない

用法: 表示强烈主张该事物不可能或没有理由成立。强调客观情况,即从客观道理上来看不会……、不应该……。常翻译成“不会……”、“不可能……”等意。

- 【例】(1) こんな忙しい時期にスキーにいけるわけがない。/现在这么忙,不可能去滑雪。
(2) 恵子: 最近元気?/最近还好?
純子: 元気なわけ(が)ないでしょ。彼と仲直りできなくて、もう悲惨な状態なのよ。/怎么会好呢? 和他没能言归于好,真是糟透了。
(3) 本当に難しい問題だから、だれにも答えられるわけがない。/这个问题非常难,所以谁都回答不出来。
(4) いくら丈夫でも、こんなに働かされては平気でいられるわけがない。/不管身体多么结实,这么被逼着干活也受不了。



練習

一、次の文の___をつけた言葉の正しい読み方を1、2、3、4の中から一つ選びなさい。

1. 「事務を手早く処理しろ」と、課長に言われました。
1 しょうり 2 しょり 3 しょんり 4 しょうりい
2. リスクの対象を間違えた投資家はチャンスを失った。
1 やった 2 した 3 した 4 うしなった
3. 契約者ご本人であることの確認および本人確認の記録をさせていただきます。
1 ほんにん 2 ほんじん 3 もとひと 4 ほんびと

4. 「カロリーゼロ飲料は通常の炭酸飲料にはない害を含み、太る可能性もある」という研究結果が報告された。
- 1 つうじょ 2 つうづね 3 つうじょう 4 とおづね
5. 無視された人間は嫌な気分になり、さらには鬱になり、最悪の場合自殺に追い込まれてしまうことがある。
- 1 むうし 2 むし 3 ぶし 4 ぶうし
6. 女の子と仲良くなりたいという欲求が身体の中を駆け巡り、積極的に女子と話すことができたのだ。
1. せきよくてき 2. せきよってき 3. せつきよくてき 4. せつきよくてき

二、次の文の___をつけたひらがなは漢字でどう書きますか。1、2、3、4の中から一つ選びなさい。

1. 多様なきかいが与えられ、何度でも再挑戦が可能となる仕組みを作っていく。
- 1 機械 2 器械 3 機会 4 奇怪
2. こうどうは人間の集団や動物のふるまいについても用いられる。
- 1 高堂 2 行動 3 公道 4 行為
3. 学校のクラブも習い事も、今やっていることは決してむだにはならない。
- 1 無駄 2 無視 3 不駄 4 無汰
4. いじわるは、「いじ」に「わるい」がつき、気性がわるい意味の「いじわるい」という形容詞からできた言葉です。
- 1 維持 2 医事 3 意地 4 心地
5. きおくとは、新しい経験を脳内に保存し、後になってその経験を意識や行動の中に再生する一連の機能をさしています。
- 1 紀億 2 記憶 3 気奥 4 記憶
6. 話の重さや深さに心を打たれてしまうような心にのこる話ばかりでした。
- 1 残る 2 溜る 3 余る 4 刻る

三、次は、言葉の意味や使い方を説明したものです。その説明に最も合う言葉を1・2・3・4から一つ選びなさい。

1. そこからある感じを受けとる。雰囲気などから察する。
- 1 感じ取る 2 感じる 3 受ける 4 覚える
2. 経過がどうであろうと、結果は明らかだと認める気持ちを表す語。いずれにせよ。
- 1 すべて 2 やはり 3 どうせ 4 ほとんど